

早稲田大学日本語教育学会 2022 年 秋季大会プログラム

開催日時 2022 年 11 月 13 日 (日) 13:00~17:10

【会 場】 早稲田大学早稲田キャンパス 22 号館 2 階 201・207 教室

【時 間】 受付 12:30~ (22 号館 2 階エレベーター前)
開会式 13:00~13:10 (22 号館 2 階 201 教室)
口頭発表 13:20~15:10 (22 号館 2 階 201 教室)
ポスター発表 13:20~14:20 (22 号館 2 階 207 教室)
企画：ワークショップ 15:20~16:50 (22 号館 2 階 201 教室)
総会 17:00~17:10 (22 号館 2 階 201 教室)

【参加方法】 会員、非会員ともに、本学会のホームページ (<http://gsjal.jp/wnkg/>) の案内に従い、事前申し込みをお願いします。(参加申込期間：9 月 15 日 (木) 10:00~10 月 22 日 (土) 23:55)

【参加費】 会員：無料

非会員：500 円 (事前申し込みの上、当日、受付でお支払いください)

※予稿集は、11 月 7 日 (月) 以降、本学会ホームページからダウンロード可能になります。

会場となる早稲田大学の感染症予防対策に従った行動 (マスク着用、アルコール消毒等) をお願いします。

【ポスター発表】 13:20~14:20

会場：22 号館 2 階 207 教室	
ともに生きるための「複言語としての日本語」の実現を目指して —異なるルーツを持つカトリック信徒の共同体形成の試みを例として— 松本美香子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)	

【口頭発表】 13:20~15:10

会場：22 号館 2 階 201 教室	
13:20 ~13:50	中国語母語話者による長母音習得プロセスの実態 —語レベル・文レベルでの生成に着目して— 渡辺咲 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士課程)
14:00 ~14:30	日本語教育を通じた国際協力における「日本語」の意味 —マクロ・ミクロ両視点からの質的分析— 工藤理恵 (フェリス女学院大学)
14:40 ~15:10	JSL 高校生は、日本語で「書く」ことや「ことばの学び」をどのように捉え、意味づけているか —大学受験直後と大学入学後の語りから— 小林美希 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)

【企画：ワークショップ】 15:20~16:50

会場：22 号館 2 階 201 教室	
<早稲田大学大学院日本語教育研究科・日研稲門会共催> 日研修了生が語る「日本語教育と私のキャリア」 —修了生との対話を通して自身のキャリアを考える— <企画者>古賀万紀子 (神田外語大学)・本間祥子 (千葉大学)・飽本弘平 (早稲田大学) <発表者>福島青史 (早稲田大学)・古屋憲章 (山梨学院大学)・高須赤絵 (らぺら株式会社)	